

第10回「特別支援教育（登校支援・学習支援・生活支援・就労支援・関係諸機関との連携）に関するセミナー」が開催されました

令和元年12月7日（土）

【一 発達障がいのある児童・生徒への支援 一】

令和元年12月7日（土）9時20分から、福岡こどもたちのセーフティネット研究会主催の「第10回特別支援教育に関するセミナー」が、昨年に引き続き九州産業大学の1号館 2階 S201番教室 及び各分科会場で開催されました。

平成19年度より特別支援教育は新たな制度としてスタートし、体制整備が進められてきました。各教育機関及び関連諸機関におかれましては、その支援体制の在り方や枠組み作りが進んでいます。そのような中、本セミナーは10年前より公私の枠を超えた貴重な情報共有の場として、主管校が中心となり毎年開催されています。手のひらの隙間から零れ落ちてしまう子どもたちにとって、安心できるセーフティネットの構築を願っての有志による手作りのセミナーです。今年度も九州産業大学の全面的なご協力を得て、特別支援教育に関心のある方々が多く参加されました。

近年、不登校や社会的不適応の背景に発達障がいや心身症などに悩む若者が増えています。また、学習困難やいじめ、或いは家庭環境による二次障がいなどにより、学校教育や就職離脱の若者が増加し、今後の日本社会に大きな影響を及ぼすことにもなりかねません。このため、学校教育をはじめとして、家庭・福祉・労働・医療・社会等の広範囲な領域における連携が重要な課題となっており、理解者及び指導者の育成が急務となっています。本セミナーでは、この問題の研究、実践及び実態に関する情報の共有や啓発を図ると共に子どもたちの健やかな成長を願い、支援するためのセーフティネット構築をめざした学びの場となることを本セミナーの目標としています。そして特別支援教育という幅広いテーマを基盤として、保護者・医療機関・カウンセラー・教員等、関係して支援する立場の全ての方々が互いに孤立することなく、共に手を携えていくことができるきっかけの場となることを切望しています。

基調講演では、奈良女子大学 研究院 生活環境科学系 臨床心理学領域 教授 臨床心理相談センター長 伊藤 美奈子 氏が、「不登校の子どもたちのこころと支援」と題して講演されました。

講師プロフィール

1984年3月、京都大学文学部国文科卒業後、大阪の私立東大谷高等学校に教諭として着任（国語科）。その後、在職中の1990年3月、大阪教育大学大学院教育学研究科（学校教育学専攻）修士課程修了。1990年4月、京都大学大学院教育学研究科（臨床教育学専攻）修士課程入学に伴い、上記高校を退職。1995年3月、同博士後期課程学修認定（所定の単位を修得）。1996年5月、博士（教育学）取得。1995年4月より2年間、南山大学文学部専任講師を経て、1997年4月よりお茶の水女子大学大学院人間文化研究科・助教授。2003年4月、慶應義塾大学教職課程センター助教授、同教授を経て、2013年4月より現職。＜専門分野＞ 臨床心理学（学校臨床）と発達心理学（思春期以降の発達） ＜資格＞ 臨床心理士、教員免許（国語科中学・高校）

奈良女子大学大学院生活環境科学系臨床心理学領域教授の伊藤美奈子先生の基調講演。

伊藤先生の優しく柔らかい語り口調に、先生の先にいる子どもたちを思い浮かべることができ、先生の子どもたちへの関わり方も想像しながら聞くことができました。

- ・不登校・ひきこもりの基本姿勢を「さなぎ」と捉え、殻をこじ開けずに、安心して休める時間の保障することの大切さ
- ・「何もしないで待つこと」は「見捨てることと一緒に」
- ・学校に行かない理由を聞かないこと→本人もよくわかっていない、簡単に説明できない
- ・まずなによりも親が「傾聴」「理解」することが大切
- ・親も支えてもらうことが大切
- ・現在までの国の対応の変化と現状 など

伊藤先生の言葉には子どもたちや保護者の方を支援するたくさんのヒントがありました。この言葉を大切に日々目の前の子どもたちと関わっていきたいと思います。

【分科会の様子】

第1分科会 【登校支援】

実践発表A 「学習支援センターの取り組み ～不登校高校生のセーフティネット～」

久留米学習支援センター副センター長 森田 修示 氏

第2分科会 【学習支援】

実践発表B 「子どもたちのために、今、大人が始めること」

NPO法人フリースクールみんなの学び館 理事長 福永 宅司 氏

第3分科会 【生活支援】

実践発表B 「様々な事案（トラブル等）が発生した際の対応やその後の支援について」

立花高等学校 教諭 松井 友瞭 氏

第4分科会 【就労支援】

実践発表B 「特色ある就職指導の取り組み」

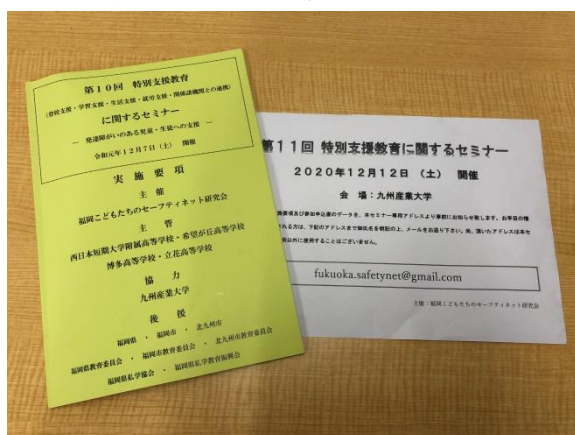
3 学年主任博多女子高等学校 落合 弘幸 氏

第5分科会 【関係諸機関との連携】

実践発表A 「大学キャンパス内での子どもの居場所づくり ～筑紫女学園大学キャンパス・スマイル事業について～」

筑紫女学園大学 人間科学部人間科学科 准教授 大西 良 氏

分科会は5つのテーマに分かれ、それぞれ事例報告やパネルディスカッションを行い、問題提起や情報を共有されました。



次回 第11回 2020年12月12日(土) 会場 九州産業大学